

(9) 教育費

事業名	英語指導員招致事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	教育総務費
担当部署	学校教育課		学事係		目	02	事務局費	
事業費			15,107,214 円	事業の目的・目標	外国から指導助手を招致し、全小中学校を訪問することにより英会話への意欲・ヒアリング能力・コミュニケーション能力を向上させることを目的とする。			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		12,400,000 円					
	その他		921,149 円					
	一般財源		1,786,065 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

外国語指導助手が市内全小中学校を巡回訪問し、英語指導を行った。

小学校においては、2020年度より施行される新学習指導要領への移行措置として小学校3年生より外国語活動を行い、外国の文化や暮らしについて知る活動や外国語によるコミュニケーションを楽しむ活動を外国語指導助手と行った。

中学校においては外国語指導助手と関わる中でヒアリング能力・英会話能力の向上が見られ、外国語を使って「伝えたい」という意欲につなげることができた。

●小学校・学年別訪問授業時数 1,252 時間 (単位：時間)

	郷田小	渡津小	江津東小	川波小	津宮小	高角小	桜江小
1年生	1	3	0	2	0	0	0
2年生	1	3	1	2	0	0	0
3年生	33	34	38	36	73	59	31
4年生	30	33	38	38	73	64	31
5年生	32	34	35	37	71	74	34
6年生	33	32	36	37	66	67	33
特別支援学級	0	0	0	0	0	0	0
その他全校行事等	0	1	0	0	6	0	0
合計	130	140	148	152	289	264	129

●中学校・学年別訪問授業時数 1,005 時間

	江津中	江東中	青陵中	桜江中
1年生	145	54	115	35
2年生	147	38	99	29
3年生	98	40	99	39
特別支援学級	0	28	34	5
その他全校行事等	0	0	0	0
合計	390	160	347	108

○事業の実績

費目	決算額 (円)	備考
報酬	11,129,845	外国語指導助手報酬 (3名)
共済費	1,603,552	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
旅費	313,890	市内旅費
需用費	19,807	授業用消耗品ほか
役務費	72,360	傷害保険料 (3名分)
使用料及び賃借料	1,751,760	住宅借上料
負担金補助及び交付金	216,000	自治体国際化協会負担金
合計	15,107,214	

事業名	江津市教育研究会助成事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	教育総務費
担当部署	学校教育課		管理係		目	02	事務局費	
事業費			5,826,000 円	事業の目的・目標	「生きる力」をはぐくむ教育を実践するため、教科部会・専門部会等により組織的活動や各種事業を行い、本市の教育の発展に寄与する。			
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		5,400,000 円					
	その他		円					
	一般財源		426,000 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容および実績

●小学校外国語活動充実事業

- ①小学校外国語活動先進校視察 ①松江市立八束学園 ②東広島市立東西条小学校 計14名参加
 ②研修会の実施 ①桜江小学校 授業研究 (H30.11.18)
 ②渡津小学校 授業研究 (H31.2.13)

●中学生キャリア教育推進事業 (H30.7.30 市民センター)

- 「好きで夢中になったら、それが仕事」～私がアナウンサーになるまでのお話～
 講師 NHK国際放送局 アナウンサー 花田 恵吉 氏
 対象 市内中学生 561人、市内中学校教職員

●江津市教職員資質向上研修

- ・実施日時及び場所
H30.8.2 (1回目)、H31.2.26 (2回目) 江津市地場産業振興センターにて実施
- ・実施内容

①講演 「これからの日本、これからの教育」

講師 京都造形芸術大学の寺脇 研 氏
 対象 市内小中学校教職員 88人

②講演 「算数のよさや美しさ、考える楽しさを味わう授業づくり」 ～「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指して～

講師 明星大学客員教授 細水 保宏 氏
 対象 市内小中学校教職員 62人

●事業費用

項目	決算額 (円)
1. 島根県小学校校長会負担金補助	154,000
2. 島根県中学校校長会負担金補助	84,000
3. 生徒指導研修会補助金	20,000
4. 島根県教育研究会各教科・専門部補助金	275,000
5. 江津市教育研究会研究補助	331,000
6. 児童文化振興費補助金	287,000
7. 小中音楽会児童生徒輸送費、楽器運送費会場借上料補助	350,000
8. 教職員研修会補助金	10,000
9. 校内研修会補助金	33,000
10. 江津市学校保健会補助金	160,000
11. 島根県学校保健会補助金	20,000
12. 「江岸の子ら」編集補助	230,000
13. 江津市中学生英語ワークショップ事業費補助金	160,000
14. 江津市中学校職場体験事業補助金	120,000
15. 総合学習に伴う補助金 (小・中)	495,000
16. 江津市小中学校資質向上研修補助	800,000
17. 中学校キャリア教育推進事業	1,000,000
18. 小学校外国語活動充実事業補助	510,000
19. 情報講習会開催補助金	450,000
20. 教育研究会等補助金	90,000
21. 人権・同和教育推進活動費	247,000
合計	5,826,000

○事業の効果

教育の充実は、直接の担い手である教員の資質能力に負うところが極めて大きい。そしてその能力は研修等を通じて生涯にわたり形成されていくものであり、本事業はその意味において重要である。

事業名	不登校等支援事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率 %		項	01	教育総務費
担当部署	学校教育課		学事係		目	02	事務局費
事業費			8,675,262 円	事業の目的・目標	あおぞら学園において、不登校及び不登校傾向の児童生徒への教育相談や学習支援を行い、学校生活への復帰を支援するとともに、家に引きこもりがちな児童生徒に対しては家庭訪問や安心して過ごせる居場所を提供するなどの支援を行い、学校復帰（社会復帰）のきっかけを作る。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		5,911,106 円				
	一般財源		2,764,156 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 運営体制 教科指導員9名・指導員7名
- 開設場所 あおぞら学園（江津保健センター内）
- 開設状況 曜日：月～金曜日 時間：9：30～16：00

- 主な内容
 - ・不登校児童生徒の在籍校、家庭や関係機関と連携しながら、集団生活への適応、基本的な生活習慣の改善等に取り組み、学校復帰への支援を行う。
 - ・児童生徒の抱える悩みに寄り添い、教科指導や体験活動、相談等を通して居場所作りを行うことで児童生徒の心の安定を図り、自己理解を図るとともに保護者の支援を行う。

- 事業効果
 - ・個々の目標を設定し、集団生活への適応に向けて体験活動や学習支援を行ったことで学校への復帰に前向きな気持ちを持つことができた。
 - ・教育支援センター（あおぞら学園）への通園日数は、指導要録上は出席扱いとなる。
 - ・定期的に在籍校と支援方法等を検討する機会を設け、学校復帰へつなげることができた。
 - ・家に引きこもりがちな児童生徒が、外に出るきっかけとなり、居場所づくりとなった。
 - ・保護者の抱えている悩みに向き合い、継続して関わることで、保護者及び児童生徒の心の安定を図ることができた。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
共済費	733,609	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
賃金	6,377,243	謝礼金（教科指導員・指導員）
報償費	10,000	体験活動謝礼金
旅費	269,540	生徒指導連絡会・家庭訪問等
需用費	1,054,603	消耗品・燃料費・光熱水費
役務費	125,515	電話料
使用料及び賃借料	104,752	AED借上げ料ほか
合計	8,675,262	

事業名	学校司書等配置事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	教育総務費
担当部署	学校教育課		学事係		目	02	事務局費	
事業費			11,229,349 円		事業の目的・目標	児童生徒の読書活動の推進及び学校図書館の効果的な活用・運営を図るため、小・中学校に学校司書等の配置を行い、学校図書館機能の充実を目指す。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		5,842,000 円					
	地方債		円					
	その他		5,387,349 円					
	一般財源		円					

施策の内容、実績、及び効果

○ 事業の内容

市内全小・中学校に学校司書等（司書資格を問わない）を配置し、児童生徒へ本の紹介・アドバイス・リクエストへの対応、読み聞かせ等を行い、学校図書館機能の充実を図る。また、学校図書館を活用した授業への取り組みを行い、学びを深める場としての学校図書館の活用について実践研究を行った。

● 事業実施校 市内の全小・中学校

① 学校図書館支援員【配置時間 1時間/日×5日/週×35週】 2校
江東中学校・桜江中学校

② 学校司書等A【配置時間 5時間/日×5日/週×35週】 8校
郷田小学校・渡津小学校・江津東小学校・川波小学校・高角小学校・桜江小学校・江津中学校・青陵中学校

③ 学校司書等B【配置時間 6時間/日×5日/週×52週】 1校
津宮小学校

○ 事業の効果

学校司書を配置し、読書活動の推進及び学校図書館の環境整備を行ったことにより児童生徒の読書量は増えてきており、学校図書館の持つ機能のうち読書センターとしての活用については成果が見られた。

「人のいる」学校図書館の実現により、児童生徒にとって読書活動や本がより身近なものとなってきている。

また、小学校2校（渡津小学校、江津東小学校）において学校図書館活用教育研究事業に取組み、学校図書館を活用した授業について実践研究を行った。研究授業を広く公開することにより市内の小中学校における学校図書館活用への意識の高まりが見られた。

○ 事業の実績

費目	決算額 (円)	備考
報酬	1,696,200	学校司書B報酬 (1名)
共済費	356,828	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
賃金	8,548,100	学校司書A賃金 (8名)
謝礼金	382,800	学校図書館支援員謝礼金 (2名)
旅費	71,480	司書研修 (浜田教育センター等)・公開授業参加
需用費	40,000	研究用消耗品費
図書購入費	133,941	研究用図書購入費
合計	11,229,349	

事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	教育総務費
担当部署	学校教育課		学事係		目	02	事務局費	
事業費			1,144,440 円		事業の目的・目標	不登校や問題行動等の課題を抱えた児童生徒の背景には、本人の心の問題だけでなく、複雑に絡み合った周囲の環境が影響していることが多いため、児童生徒の心に寄り添い支援するとともに、専門の関係機関と連携して環境に働きかけ、状況の改善を図ることで健全な育成を図る。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		1,144,000 円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		440 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 運営体制 スクールソーシャルワーカー 1名
- 配置形態 派遣型
 - ・教育支援センター（あおぞら学園）に配置し、要請のあった学校や家庭に派遣し活動する。
- 活用方法 教育委員会の指導主事と連携し、困難な状況を抱える児童生徒を把握するとともに、学校や家庭訪問を通して、状況の改善を図る。
- 主な内容
 - ・問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけ
 - ・関係機関等のネットワークの構築、連携・調整
 - ・保護者に対する支援・相談、教職員への情報提供

○事業の効果

- ・問題を抱える児童生徒の家庭を訪問し、学校や教育支援センターへ向かうよう支援した。
- ・学校や関係機関等とのケース会議に参加し、保護者や児童生徒の思いや状況を伝え、環境の改善に向けて連携を図ることができた。
- ・悩みを抱えている保護者と向き合い、前向きな気持ちで子どもと接することができるよう継続的に支援した。
- ・複雑な背景を抱えている児童生徒の家庭に対して、関係機関と連携し、問題解決のためのネットワークづくりを行った。

○事業の実績

費目	決算額 (円)	備考
賃金	1,067,500	相談員(1名)賃金
旅費	76,940	家庭訪問・学校訪問・福祉施設訪問
合計	1,144,440	

事業名	指導主事配置事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	01	教育総務費
担当部署	学校教育課		学事係		目	02	事務局費	
事業費			12,166,887 円		事業の目的・目標	①生徒指導主事1名を配置し、課題（不登校、いじめ等）を持った児童生徒及び当該学校の支援・指導を行い、健全な学校経営につなげる。 ②小学校籍と中学校籍の指導主事各1名を配置し、教科全般にわたり教員の授業力向上を図り、児童生徒の学力育成につなげる。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		円					
	地方債		7,800,000 円					
	その他		円					
	一般財源		4,366,887 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

業務内容	小学校訪問回数	中学校訪問回数	合計
生徒指導支援の学校訪問	82 回	53 回	135 回
授業力向上の学校訪問	192 回	86 回	278 回

○事業の実績

費目	決算額(円)	備考
職員手当等	246,450	指導主事時間外手当
旅費	122,620	学校訪問、諸会議、研修等
需用費	55,817	教材、教育資料等
負担金補助及び交付金	11,742,000	指導主事派遣負担金
合計	12,166,887	

○事業の効果

①家庭への働きかけが必要な児童生徒については校長会や教育支援センター等関係機関との情報共有を元に、スクールソーシャルワーカーと連絡調整を行いながら対応することができた。

②不登校（傾向）の児童生徒への対応については在籍校や関係機関と連携し、不登校状態の改善が見られる等の事例があった。

③小中学校への訪問指導を通して、江津市学力育成サイクルプラン確立のため、継続的な助言・指導を行った。新学習指導要領で求められている学力を育成するために、各学校が策定している「授業改善アクションプラン」に基づいた「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善や「めあてとふりかえり」の必要性について、指導・助言を行った。

④全国学力・学習状況調査や県学力調査の結果を各学校ごとに分析するとともに「授業改善アクションプラン」の策定、実施、その検証方法についても学校訪問時に繰り返し説明したことで授業改善が行われている。また、学力育成担当社会、学力育成管理職研修会を開催し、これからの時代に必要となる資質・能力をどう育成するかという視点から事例により理解を深めることで、組織的な改善につながりつつある。

⑤平成30年度より小学校において教科化となった「特別の教科 道徳」（中学校は平成31年度より）及び小学校外国語活動に係る授業力向上に向け重点的な訪問指導、授業研修等を行った。

事業名	学校空調整備事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
事業開始年度	平成 30 年度	事業進捗率 10 %		項	01	教育総務費
担当部署	学校教育課	管理係		目	02	事務局費
事業費		34,660,000 円	事業の目的・目標	全国的に酷暑が続き、熱中症で倒れる児童・生徒が増える中、教育現場におけるエアコン整備が喫緊の課題となっている。 特別支援学級を含む全普通教室へエアコンを整備することにより、児童生徒への暑さの負担を軽減し、より快適な学習環境をつくる。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	34,645,000 円				
	その他	円				
一般財源	15,000 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

国の特例交付金を活用して、令和元年8月末までに市内小中学校の全普通教室へエアコンを設置する。

●学校別エアコン設置内訳

小学校名	設置数		中学校名	設置数	
	室内機	室外機		室内機	室外機
郷田小学校	8	8	江津中学校	10	10
渡津小学校	8	8	江東中学校	7	7
江津東小学校	11	11	青陵中学校	12	12
川波小学校	8	8	桜江中学校	6	6
高角小学校	14	14	《小学校計》	74	74
津宮小学校	17	17	《中学校計》	35	35
桜江小学校	8	8	《小中合計》	109	109

●事業費

(単位：円)

業務の内容	H30決算額	翌年度への繰越額
空調整備工事实施設業務 (小学校)	※小学校管理費より支出 6,588,000	0
空調整備工事实施設業務 (中学校)	※中学校管理費より支出 3,466,800	0
小計	10,054,800	0
空調整備工事	中部地区① (郷田小・渡津小)	※ 279,632,000
	中部地区② (高角小・江津中)	
	西部地区 (川波小・津宮小・青陵中)	
	東部地区 (江津東小・江東中)	
	桜江地区 (桜江小・桜江中)	
小計	34,660,000	279,632,000
合計	44,714,800	279,632,000

※事業費の一部を翌年度へ繰越しています。

※実施設業務については、それぞれ別の事業科目より支出

(大事業名：小学校教育施設整備事業 中学校教育施設整備事業)



○事業の効果

エアコンを整備することにより、児童生徒への暑さの負担を軽減し、より快適な学習環境をつくる。

事業名	小学校管理費		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
事業開始年度	平成 30 年度	事業進捗率 100 %		項	02	小学校費
担当部署	学校教育課	学事係		目	01	学校管理費
事業費		110,148,912 円	事業の目的・目標	市内小学校7校の管理運営費。 H30年度では市内各小中学校11校（内小学校7校）に別々に整備されていた校内情報ネットワークを、教育情報の一元管理及び学校間の情報伝達の円滑化・効率化を目的に統合・整理し、市庁舎（情報統計室）に「江津市教育ネットワーク」として集約する。併せて校務用 P C (Windows7) を全台更新する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	34,476,666 円				
	一般財源	75,672,246 円				

施策の内容、実績、及び効果

●小学校校務用 P C 更新及び教育ネットワークの構築 31,919,113 円

○事業の内容、実績

区分	決算額 (円)	備考
校務用 P C 更新 (備品購入費)	14,280,084	P C 更新台数 125 台 他
教育ネットワーク構築(中学校管理費と按分) (委託料)	17,639,029	各種サーバ 物理サーバ 2 台 (仮想サーバ×8仮想) システムの内容 ・情報資産管理システム (SkyseaClient) ・エンドポイントウィルス対策ソフト (ウィルスバスターCorp) ・勤怠管理システム (グリーン・ナッツ) ・グループウェア (デスクネッツNEO) 導入 ・リモートメンテナンスシステム ・U T M (ファイアウォール、スパムメール防止) ・個人用 U S B メモリ禁止措置 (セキュリティ U S B メモリ及び管理ソフト整備)
合計	31,919,113	

○事業の効果

■情報流出リスクの軽減

市内11校に別々に構築されていた各校内ネットワークを「江津市教育ネットワーク」として統合・整理し、個人情報等の重要データを「江津市教育情報システムサーバ」(情報統計室内サーバ室)へ集約することにより、学校におけるサーバ盗難等物理的な個人情報流出のリスクを軽減することができた。また、インターネットへの接続を、各校直接接続から江津市教育情報システムサーバ経由の接続へ切り替え1箇所に集約したことにより、集中的なセキュリティ対策が可能となり、文科省がガイドラインに規定する形での「教育情報セキュリティ強靱化」を実施できる環境が整った。

併せて、個人用 U S B メモリの使用禁止措置と校務用セキュリティ U S B メモリの配備により、個人情報の持ち出し・紛失に対する予防措置を行うことができた。

■情報共有の効率化

統合された江津市教育ネットワーク内に、市内全校がデータを自由に配置・閲覧・編集できる「共有フォルダ」を設けたことにより、ネットワーク内で効率的に情報を交換・共有できるようになった。

■システム構造の単純化による機器の削減

これまで市内各校(11校)別々に整備・運用されていたサーバ機器を廃止したことにより、これら機器の年次更新が不要となった。

■働き方改革に向けての環境整備

校務の効率化に効果が高い「グループウェア」を導入するとともに、I C カードリーダーによる「勤怠管理システム」を導入し、教職員の働き方改革に向けての環境整備が進んだ。

●その他 78,229,799 円

(報酬 11,819,118円 需用費(修繕料、光熱水費等) 36,462,694円 役務費 4,717,303円 他)

事業名	スクールバス運行事業（小学校）			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	02	小学校費
担当部署	学校教育課		管理係		目	01	学校管理費
事業費		34,449,088 円		事業の目的・目標	市内小学校の遠距離通学児童の通学手段を確保するため、スクールバスによる送迎を行う。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		1,000,000 円				
	その他		円				
	一般財源		33,449,088 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●台数及び運行区域

学校	台数	運行区域	一般利用等
郷田小	2	松川町、川平町	江津中学校 混乗
江津東小	2	黒松町、波積町、都治町、後地町、浅利町	なし
川波小	1	波子町、有福温泉町	なし
桜江小	4	桜江町	住民利用 有（田津）
津宮小	1	千田町、跡市町	青陵中学校 混乗

●経費内訳

・需用費	4,600,218 円	（燃料費、修繕料等）
・役務費	877,490 円	（車検手数料、保険料等）
・委託料	28,820,880 円	（スクールバス運行委託料）
・賃借料	16,000 円	（スクールバス停留所敷地借上料）
・公課費	134,500 円	（自動車重量税）
計	34,449,088 円	

○事業の効果

郷田小学校区、江津東小学校区、津宮小学校区、川波小学校区、桜江小学校区の遠距離通学児童の安全な通学を確保している。
また、桜江町田津地区の公共交通手段を確保することで、日常生活の利便性が図られている。



事業名	小学校施設耐震化事業		予算科目	会計	01	一般会計	
				款	10	教育費	
事業開始年度	平成 29 年度	事業進捗率		30 %	項	02	小学校費
担当部署	学校教育課	管理係		目	01	学校管理費	
事業費			7,481,080 円	事業の目的・目標	渡津小学校屋内運動場は昭和47年に建設されていることから、老朽化対策が必要である。 屋体については、耐震診断結果を踏まえ、補強計画の基づく耐震補強工事を実施し、施設の安全性を確保する。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		7,200,000 円				
	その他		円				
	一般財源		281,080 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

渡津小学校屋内運動場については、安全・安心な教育環境を早期に確保するため、昨年度の診断結果に基づく補強計画の策定を行った。
また、補強計画の他、老朽化により施設の改修が必要なことから、改修に係る計画を併せて策定して報告書としてまとめた。

●建築物の概要

施設 渡津小学校屋内運動場
構造 鉄骨造 地上1階
面積 544㎡
竣工 昭和47年



●事業費

渡津小学校屋内運動場耐震補強等計画策定業務 7,237,080円
渡津小学校屋内運動場耐震補強計画判定手数料 244,000円

●補強計画及び改修計画について

①補強工事について

1. 屋根ブレース補強
2. 地中梁補強（コンクリート工事含む）
3. 柱脚の補強
4. 妻柱の補強
5. 爆裂補修

②改修工事について

1. 屋根改修工事
2. 外壁工事
3. アリーナ床等工事
4. 建具工事
5. 機械設備工事
6. 電気設備工事

○事業の効果

渡津小学校屋内運動場の補強計画において、耐震性能である I s 値が補強前の0.22から補強後は0.84まで上昇するため、目標値である I s =0.70を上回る。
また、補強計画案及び改修計画案を取りまとめたことで、来年度での工事実施に向けた事業の進捗を図ることができた。

事業名	小学校教育振興費			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	02	小学校費
担当部署	学校教育課				目	02	教育振興費
事業費		33,703,994 円		事業の目的・目標	小学校教育の振興のため、経済的事情により就学困難な児童及び特別支援学級へ就学する児童の援助、図書や教材の購入を行う。		
財源内訳	国庫支出金	990,510 円					
	県支出金	0 円					
	地方債	4,400,000 円					
	その他	8,084,000 円					
	一般財源	20,229,484 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

●就学援助事業

区分	決算額(円)	備考
学用品費等	2,544,733	対象人員 143 人 学用品費・通学用品費・新入学用品費・校外活動費・修学旅行費
新入学用品費 (入学前支給分)	812,000	対象人員 20 人 平成31年度入学予定児童対象
学校給食費	7,056,487	対象人員 144 人
生徒会・PTA会費	512,970	対象人員 122 人
医療費	171,936	対象人員 28 人
特別支援教育費	582,786	対象人員 19 人
合計	11,680,912	

●小学校教育用コンピュータ整備事業

・コンピューター借上料 12,911,935円

●その他

費目	決算額(円)	備考
報償費	110,500	入学祝品
需用費	865,245	教師用教科書・教師用指導書・消耗品
委託費	842,918	配信プリントシステム委託料
備品購入費	7,292,484	図書購入費・教材購入費
合計	9,111,147	

○事業の効果

就学援助では、経済的な理由により就学困難な世帯に対し、学校生活を送る上で必要な経費の一部を支給している。これにより、対象世帯の経費負担軽減を図っている。

また、市内7小学校に、教育用コンピュータやソフト等をリースにより整備し、コンピュータ等の基本的な操作を身につけるとともにインターネット等から得た情報をまとめたり、個々の考えを大型テレビに映し出し、全員で共有するなどの学習活動を行った。また、デジタル教科書など電子教材や実物投影機等を活用し児童の関心を高めることができた。

事業名	中学校管理費		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
事業開始年度	平成 30 年度	事業進捗率 100 %		項	03	中学校費
担当部署	学校教育課	学事係		目	01	学校管理費
事業費		73,035,881 円	事業の目的・目標	市内中学校4校の管理運営費。 H30年度では市内各小中学校11校（内中学校4校）に別々に整備されていた校内情報ネットワークを、教育情報の一元管理及び学校間の情報伝達の円滑化・効率化を目的に統合・整理し、市庁舎（情報統計室）に「江津市教育ネットワーク」として集約する。併せて校務用 P C (Windows7) を全台更新する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	933,774 円				
	地方債	600,000 円				
	その他	19,824,571 円				
	一般財源	51,677,536 円				

施策の内容、実績、及び効果

●中学校校務用 P C 更新及び教育ネットワークの構築 19,107,706 円

○事業の内容、実績

区分	決算額 (円)	備考
校務用 P C 更新 (備品購入費)	10,396,026	P C 更新台数 91 台
教育ネットワーク構築(小学校管理費と按分) (委託料)	8,711,680	各種サーバ 物理サーバ 2 台 (仮想サーバ×8仮想) システムの内容 ・メディアコンバータ ・情報資産管理システム (SkyseaClient) ・エンドポイントウィルス対策ソフト (ウィルスバスターCorp) ・勤怠管理システム (グリーン・ナッツ) ・グループウェア (デスクネッツNEO) 導入 ・リモートメンテナンスシステム ・U T M (ファイアウォール、スパムメール防止) ・個人用 U S B メモリ禁止措置 (セキュリティ U S B メモリ及び管理ソフト整備)
合計	19,107,706	

○事業の効果

■情報流出リスクの軽減

市内11校に別々に構築されていた各校内ネットワークを「江津市教育ネットワーク」として統合・整理し、個人情報等の重要データを「江津市教育情報システムサーバ」(情報統計室内サーバ室)へ集約することにより、学校におけるサーバ盗難等物理的な個人情報流出のリスクを軽減することができた。

また、インターネットへの接続を、各校直接接続から江津市教育情報システムサーバ経由の接続へ切り替え1箇所を集約したことにより、集中的なセキュリティ対策が可能となり、文科省がガイドラインに規定する形での「教育情報セキュリティ強化」を実施できる環境が整った。

併せて、個人用 U S B メモリの使用禁止措置と校務用セキュリティ U S B メモリの配備により、個人情報の持ち出し・紛失に対する予防措置を行うことができた。

■情報共有の効率化

統合された江津市教育ネットワーク内に、市内全校がデータを自由に配置・閲覧・編集できる「共有フォルダ」を設けたことにより、ネットワーク内で効率的に情報を交換・共有できるようになった。

■システム構造の単純化による機器の削減

これまで市内各校(11校)別々に整備・運用されていたサーバ機器を廃止したことにより、これら機器の年次更新が不要となった。

■働き方改革に向けての環境整備

校務の効率化に効果が高い「グループウェア」を導入するとともに、I C カードリーダーによる「勤怠管理システム」を導入し、教職員の働き方改革に向けての環境整備が進んだ。

●その他 53,928,175 円

(報酬 7,805,100円 需用費(修繕料、光熱水費等) 26,333,308円 役務費 3,264,562円 他

事業名	スクールバス運行事業（中学校）		予 算 科 目	会計	01	一般会計		
				款	10	教育費		
事業開始年度	平成	年度		事業進捗率	%	項	03	中学校費
担当部署	学校教育課			管理係	目	01	学校管理費	
事業費		12,921,340 円		事業の目的・目標	市内中学校の遠距離通学生徒の安全な通学を確保するため、スクールバスによる送迎を行う。			
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	1,000,000 円						
	その他	531,640 円						
	一般財源	11,389,700 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

●台数及び運行区域

学校	台数	運行区域	一般利用等
江津中	※	松川町、川平町	※郷田小学校バス利用
青陵中	1	有福温泉町	津宮小学校バス利用（跡市方面）
桜江中	1	桜江町	住民利用 有（長谷）

●住民利用

- ・利用車両 桜江中バス
- ・区間 (旧)川戸駅～風の国
- ・利用者数 2,206 人
- ・運賃収入 531,640 円

●経費内訳

・需用費	2,595,898 円	(燃料費、修繕料等)
・役務費	238,082 円	(車検手数料等)
・委託料	10,029,960 円	(スクールバス運行業務委託料)
・公課費等	57,400 円	(自動車重量税等)
計	12,921,340 円	

○事業の効果

江津中学校区、青陵中学校区及び桜江中学校区の遠距離通学生徒の安全な通学を確保している。
また、桜江町長谷地区の公共交通手段を確保することで、日常生活の利便性が図られている。



事業名	中学校教育振興費			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	03	中学校費
担当部署	学校教育課				目	02	教育振興費	
事業費		30,774,708 円		事業の目的・目標	中学校教育の振興のため、経済的事情により就学困難な生徒及び特別支援学級へ就学する生徒への援助及び図書や教材の購入を行う。			
財源内訳	国庫支出金	477,490 円						
	県支出金	円						
	地方債	3,400,000 円						
	その他	6,400,000 円						
	一般財源	20,497,218 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

●中学校就学援助事業

区分	決算額(円)	備考
学用品費等	2,938,202	対象人員 70 人 学用品費・通学用品費・新入学用品費・校外活動費・修学旅行費
新入学用品費 (入学前支給分)	1,279,800	対象人員 27 人 平成31年度入学予定生徒対象
学校給食費	3,791,600	対象人員 70 人
生徒会・PTA会費	574,960	対象人員 70 人
医療費	63,031	対象人員 8 人
特別支援教育費	156,689	対象人員 5 人
合計	8,804,282	

●中学校教育用コンピュータ整備事業

- ・コンピューター借上料 12,800,592円

●その他

費目	決算額(円)	備考
報償費	185,270	卒業記念品
需用費	417,154	消耗品・楽器の修繕料
委託費	388,800	配信プリントシステム委託料
備品購入費	7,260,800	図書購入費・教材購入費
負担金補助及び交付金	917,810	桜江中学校遠距離通学生徒通学費補助金
合計	9,169,834	

○事業の効果

就学援助では、経済的な理由により就学困難な世帯に対し、学校生活を送る上で必要な経費の一部を支給している。これにより、対象世帯の経費負担軽減を図っている。

また、市内4中学校に教育用コンピュータ、学習用ソフト等をリースにより整備し、インターネット等から得た情報を学習に役立てた。

事業名	図書館運営事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率 %		項	04	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	02	図書館費
事業費			25,403,144 円	事業の目的・目標	市民の文化教養を高めるため、情報化時代にふさわしい多種の図書資料を収集整備し、市民に自由に公平な利用ができる場を提供する。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		円				
	地方債		円				
	その他		2,499,654 円				
	一般財源		22,903,490 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

費目	金額 (円)	内容
報酬	12,500	図書館協議会委員報酬
旅費	3,360	図書館協議会委員旅費
需用費	1,160,962	光熱水費
役務費	12,204	自動車損害保険料
委託料	21,698,464	指定管理料
備品購入費	2,499,654	図書購入費
負担金及び交付金	16,000	島根県公共図書館協議会会費等
合計	25,403,144	

●蔵書冊数

区分	蔵書冊数	受入図書	廃棄図書	平成30年度末	蔵書冊数
本館	70,793 冊	1,763 冊	734 冊		71,822 冊
桜江分館	15,936 冊	340 冊	324 冊		15,952 冊
計	86,729 冊	2,103 冊	1,058 冊		87,774 冊

●利用状況

区分	本館	桜江分館	移動図書	計
開館日数	281 日	281 日		
入館者数	14,243 人	4,485 人		18,728 人
利用者数	9,592 人	1,616 人		11,208 人
登録者数	1,181 人	223 人		1,404 人
貸出冊数	39,602 冊	4,533 冊	465 冊	44,600 冊

●文化活動

講座等	会員数	開催日数	開催期日 または定例日
古文書を読む会	27 人	11 回	毎月第1土曜日 14:00~16:00
歴史を楽しむ会	9 人	11 回	毎月第2月曜日 14:00~16:00
本と子育てを語る会	10 人	6 回	毎月第4日曜日 13:30~16:00

●その他

・催し

5/2(水)~30(水)	子ども読書週間企画	参加者 107人
8/2(木)~26(日)	としょかん縁日(本館)	参加者 100人
10/20(土)~28(日)	としょかんまつり(読書週間企画)	参加者 本館約30人、分館約20人
12/10(月)~24(日)	星に願いを(クリスマス-を飾ろう)	参加者 本館74枚、分館9枚
12/22(土)~1/21(月)	福ぶっくろ	本館70袋、分館36袋

・広報活動

図書館報「洗心」・新着図書案内の発行 年12回
 市広報「かわら版」への図書館ガイドを掲載 12回
 ツイッター、防災無線、市HP、新聞イベント欄等での情報発信(随時)

・その他

職場体験(9/19~21):中学生1名
 ボランティア:読み聞かせ、事務補助(延べ40回)
 江津市図書館協議会 8/3(金) 委員7人出席

○事業の効果

蔵書の充実、文化活動への支援、広報活動等により、少しずつではあるが、図書館利用者の増加につながっている。

事業名	人権教育推進事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	04	社会教育費
担当部署	人権同和教育課		人権同和教育係		目	03	社会人権・同和教育費	
事業費		969,557 円		事業の目的・目標	人権尊重、自由平等の精神を基盤に人権・同和問題を正しく理解し、市民一人ひとりが、自らの課題として捉え、早期解決が図られるよう「差別しない」「差別させない」「差別は許さない」心情と態度を育てる。			
財源内訳	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他	円						
	一般財源	969,557 円						

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

概 要	決算額 (円)
<ul style="list-style-type: none"> ●みんなで考える人権のつどいの開催 期間：7月～3月 会場：16地域コミュニティ交流センターほか 計17箇所 演題：「暮らしの中の人権～今を共に生きる～」 講師：二又 茂樹（社会教育指導員） 参加者数延べ：318人 ●地域別人権問題研修会の開催 11月19日 江東中学校 講師：笹原留似子 参加者数：60人 11月21日 青陵中学校 講師：島根あさひ訓練センター 参加者数：170人 12月 5日 江津中学校 講師：島根あさひ訓練センター 参加者数：221人 12月18日 桜江中学校 講師：本郷由美子 参加者数：177人 ●人権問題学習会の開催 5小学校、延べ270人参加 ●人権・同和教育主任等研究協議会の開催 期間：6月・11月・2月（年3回開催）（参加者数延べ：85人） 内容：講演・分科会 	394,860
<ul style="list-style-type: none"> ●人権啓発作品展の開催（応募数787点 表彰数27点） 期間：12月4日～10日 会場：市総合市民センター（エントランスホール） 内容：人権イラスト・作文・メッセージの展示 表彰式：各学校 	165,355
●人権啓発三角柱（後地町）	389,070
●その他事務	20,272
合 計	969,557

○事業の効果

市内地域コミュニティ交流センターの巡回講演と地域別人権問題研修会を開催し、より一層の人権教育の推進が図られた。児童・生徒が自ら人権メッセージを作成・発信することで、問題意識を正しく持ち、人権を互いにかつ多角的に考える機会を得ることができた。



主任等研究協議会（分科会）



人権啓発作品展

事業名	社会教育活動費			予算科目	会計	01	一般会計						
					款	10	教育費						
	事業開始年度	平成	年度		事業進捗率	%	項	04	社会教育費				
	担当部署	社会教育課			社会教育係	目	05	社会教育活動費					
財源内訳	事業費		882,848 円	事業の目的・目標	生涯の各時期にわたって幅広く学習活動ができるよう、市民の学習要求を満たし、自己啓発がすすめられる集団学習と地域活動を奨励する。								
	国庫支出金		円										
	県支出金		円										
	地方債		円										
	その他		円										
	一般財源		882,848 円										
施策の内容、実績、及び効果													
1 出前講座 74,520 円													
○事業の内容 市民が受講したい内容をメニュー表から選び、市職員・公的機関職員等が講師となり地域へ出かけお話しする。													
○事業の実績 ・実施件数および参加者数 平成30年7月～3月 111件 2,879人 (平成29年度 116件 3,176人)													
○事業の効果 【受講者・アンケートより】 ・ストレスは全て悪いものではないと聞いて納得しました。ストレスが程よいものなら成長につながるし、大きくなれば心の病気につながると思うので、自分でストレスの大きさを把握できるようになりたいと思いました。 ・児童たちに予想をさせたり、クイズなどもおこなったりしながら説明をしていただき、大変わかりやすかったです。考えながら話をきくことで、児童たちの学習もより深いものになったと思います。													
○事業費の内訳													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>費目</th> <th>金額 (円)</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>74,520</td> <td>印刷製本費 (出前講座メニュー表)</td> </tr> </tbody> </table>								費目	金額 (円)	内容	需用費	74,520	印刷製本費 (出前講座メニュー表)
費目	金額 (円)	内容											
需用費	74,520	印刷製本費 (出前講座メニュー表)											
2 地域活動支援事業 700,000 円													
○事業の内容 女性の目から見た地域課題の研修や人づくり・地域づくりのための学習活動で、討議、実験演習、見学など幅広い活動を行う。 実施主体： 江津市連合婦人会、各地域9婦人会													
○事業の実績 ・実施件数および参加者数 70回 4,534人													
○事業の効果 各地区の中核とし、様々な問題に女性の感性である包容力をもち備え、「元気・勇気・感動」のいきいきとした町づくりに向け自己研鑽に努め、明るい安全・安心な住んでよかったと言えるような社会づくりに積極的に努めている。													
○事業費の内訳													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>費目</th> <th>金額 (円)</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>700,000</td> <td>地域活動支援事業委託料 (各地区225,000円、連合会475,000円)</td> </tr> </tbody> </table>								費目	金額 (円)	内容	委託料	700,000	地域活動支援事業委託料 (各地区225,000円、連合会475,000円)
費目	金額 (円)	内容											
委託料	700,000	地域活動支援事業委託料 (各地区225,000円、連合会475,000円)											

事業名	ふるさと教育推進事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	04	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	05	社会教育活動費	
事業費			930,000 円		事業の目的・目標	学校と家庭とが一体となり、ふるさとの人とのふれあい、自然・歴史・文化・伝統行事・産業等の教育資源を活用した授業や地域での体験活動を通し、子どもたちの豊かな人間性や社会性、ふるさとを大切にする心の育成を図る。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		930,000 円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

全小中学校において実施した。
 地域講師による授業が充実し、長年にわたり積み重ねられた学習が生かされてきた。地域の「ひと・もの・こと」に直接関わりながら、それぞれの学校で独特な活動を展開。
 小学校では主に、地域に出向き、人や自然に触れたり、施設を訪ね現状を見聞きし、地域の人とのふれあいのなかで、自分たちのふるさとについて学ぶ。
 中学校では、地域の課題や社会の問題を知ること、自身の将来設計を考えることにつながり、学習意欲の向上を図る。

○事業の効果

- ・地域とのふれあいで、児童生徒の学習内容の多様化に寄与した。
- ・地域の伝統芸能や、伝統文化の保存・伝承に携わる方に、発表の場を設ける事ができ、今後の活動の活力へつなぐことができた。
- ・ふるさと教育に関わる地域の方も、子どもの成長を目の当たりにして、社会貢献の大切さや、やりがいを実感できた。
- ・ふるさと江津への愛着を深める活動になった。

○事業費の内訳

	ふるさと教育の経費（円）		計（円）
	報償費	活動経費	
郷田小学校		70,000	70,000
渡津小学校	20,400	49,600	70,000
江津東小学校	7,800	62,200	70,000
川波小学校		70,000	70,000
津宮小学校	4,100	65,900	70,000
高角小学校	22,200	47,800	70,000
桜江小学校	31,800	38,200	70,000
江津中学校		70,000	70,000
江東中学校	19,200	50,800	70,000
青陵中学校		70,000	70,000
桜江中学校	4,800	65,200	70,000
教育委員会事業費	100,100	59,900	160,000
計	210,400	719,600	930,000

事業名	学校支援地域本部事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	04	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	05	社会教育活動費	
事業費			630,000 円		事業の目的・目標	「学校・家庭・地域」が連携し、地域ぐるみの学校支援体制を構築し、子どもたちの健全な発育に資することを目標とする。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		420,000 円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		210,000 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

近年のいじめ、不登校など、青少年をめぐる様々な問題が発生している背景として、地域における地縁的なつながりの希薄化や個人主義の浸透などによる、いわゆる「地域の教育力の低下」が指摘されている。また、学校教育においては、教育活動以外等の業務が増加しており、教員の業務量の増加が問題となっており、教員の勤務負担を軽減するなど、積極的に時間外勤務を縮小し、教員が子ども一人ひとりに対するきめ細やかな指導の時間の確保が課題となっている。

これらを踏まえ、地域全体で「次世代を担う子ども」の学校の教育活動や放課後の活動を支援するため、学校・家庭・地域の連携体制の構築を図り、多様な支援を可能とし、学校・家庭・地域が三位一体となって子どもと向き合う時間の拡充を図る。

○事業の実績

1. 各小中学校における学校支援ボランティアへの取組み

- ①学習支援活動のボランティア紹介、学校に関わる地域の人材ほりだし
- ②部活動指導、クラブ活動指導の人材紹介
- ③登下校時の安全指導員の調整
- ④学校環境整備活動の人員確保
- ⑤放課後子ども教室との連携
- ⑥ふるさと教育の講師・ボランティアの紹介

2. コーディネーター等連絡会議（1回）

【3/27】

- ①学校支援地域コーディネーター、放課後支援コーディネーター、親学ファシリテーターの合同連絡会議を開催

3. 各種研修会への参加

- ・支援活動事業数 : 合計 442日
- ・参加人数（延べ） : 合計 8,978人

○事業の効果

・地域コーディネーターの活動により、地域コミュニティ組織と連携しながら学校支援活動を行っているところもあり、参加者も増加傾向にある。

・ふるさと教育、放課後支援、キャリア教育にも、コーディネーターが関わるようになり、社会教育事業の核となっている。

○事業費の内訳

費目	金額（円）	内容
諸謝金	423,200	コーディネーター活動謝金
旅費	2,400	研修会、地域協議会出席者旅費
需用費	141,400	会議資料紙代等消耗品
役務費	63,000	ボランティア連絡用切手
計	630,000	

事業名	放課後子ども教室推進事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	04	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	05	社会教育活動費	
事業費			7,591,652 円		事業の目的・目標	学校・家庭・地域社会の連携協力により、子ども達が、健やかに過ごすことができる環境を整備すること。子どもとのふれあいを通じて住民同士のつながりを強め地域力のアップにつなげていくこと。保護者自身も、単に便利なサービスを楽しむ側に回るのでなく、できるだけ積極的に地域の取り組みに関わっていくこと。		
財源内訳	国庫支出金		円					
	県支出金		5,061,000 円					
	地方債		円					
	その他		円					
	一般財源		2,530,652 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- ・放課後子どもプラン事業（放課後子ども教室推進事業）
放課後等に地域の公民館等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強・スポーツ・文化活動・交流活動等の取り組みを行う。

○事業の実績

名称	校区	年間実施日数
・郷田っこひろば	(郷田小学校区)	28 日
・アフタースクールまつひらっこ	(郷田小学校区)	4 日
・渡津子どもひろば	(渡津小学校区)	29 日
・江津東すこやか広場	(江津東小学校区)	156 日
・跡市放課後子どもクラブ	(跡市小学校区)	240 日
・波っ子クラブ	(川波小学校区)	10 日
・有福温泉子ども教室	(川波小学校区)	43 日
・都野津子ども教室	(津宮小学校区)	6 日
・二宮集いの家	(津宮小学校区)	240 日
・つのみやっこ広場	(津宮小学校区)	224 日
・角っこひろば	(高角小学校区)	54 日
・川越安心ひろば	(桜江小学校区)	40 日
・桜江小学校放課後子ども教室	(桜江小学校区)	117 日
・お茶のま食堂	(川波・津宮小学校区)	6 日
合計		1,197 日

○事業の効果

- ・学校、家庭、地域が連携することにより、地域で子どもの育ちを支える気運が高まった。
- ・放課後子ども教室に参加する子どもは、上級生に面倒を見てもらったり、上級生は下級生の面倒をみるなど、異年齢間の関わりの中、相互に成長が見られる。
- ・集団で遊ぶことを子どもたちが学び、活発に活動できるようになった。
- ・そうした子どもたちの成長を目の当たりにして、事業に参画する大人も、社会貢献のやりがいや大切さを感じ、今後の地域活動への活力となった。
- ・地域住民の参画：のべ4,145人　子どもの参加：のべ20,571人

○事業費の内訳

費目	金額 (円)	内容
報償費	6,992,000	各教室コーディネーター等謝金
旅費	10,820	研修会等旅費
需用費	393,000	各教室消耗品等
役務費	195,832	各教室コーディネーター等保険料
計	7,591,652	

事業名	放課後児童クラブ事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率 %		項	04	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	05	社会教育活動費
事業費			83,754,552 円	事業の目的・目標	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童等に対し、適切な遊び及び生活の場を提供して健全な育成を図る。		
財源内訳	国庫支出金		26,721,000 円				
	県支出金		22,610,000 円				
	地方債		円				
	その他		13,345,300 円				
	一般財源		21,078,252 円				

施策の内容、実績、及び効果

○ 事業の内容、実績

費目	金額 (円)	内容
需用費	181,850	消耗品、光熱水費、修繕料他
役務費	76,598	通信費、手数料、火災保険料他
委託料	74,061,224	運営委託、浄化槽管理、設計委託
工事請負費	9,434,880	津宮放課後児童クラブ屋根修繕等
合計	83,754,552	

平成31年3月31日現在

児童クラブ名	入所児童数					
	指導員数	1年	2年	3年	4年～	合計
津宮放課後児童クラブ	5	23	11	13	0	47
高角放課後児童クラブ	6	17	18	8	2	45
江津東放課後児童クラブ	3	8	9	7	4	28
桜江放課後児童クラブ	4	10	11	8	5	34
渡津放課後児童クラブ	3	5	9	11	2	27
川波放課後児童クラブ	2	8	8	6	1	23
郷田放課後児童クラブ	3	11	9	3	13	36
計	26	82	75	56	27	240

○ 事業の効果

放課後及び長期休暇中の子どもの安全と健全な育成を推進し、保護者の就業支援に寄与している。

事業名	土曜の教育支援活動推進事業			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率 %		項	04	社会教育費
担当部署	社会教育課		社会教育係		目	05	社会教育活動費
事業費			1,407,660 円	事業の目的・目標	土曜日や長期休暇などに、地域の力を活用して児童生徒の学習を支援する体制を整備すること。児童生徒の学力補償や、学びのセーフティネット対策とともに、地域活動の活性化に資する活動の推進すること。		
財源内訳	国庫支出金		円				
	県支出金		938,000 円				
	地方債		円				
	その他		円				
一般財源		469,660 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

土曜日や長期休暇などに、地域の力を活用して児童生徒の学習を支援する体制と仕組みをつくり、児童生徒の学力補償や、学びのセーフティネット対策とともに、地域活動の活性化に資する活動を推進する。

- (1) 地域住民が学校施設や公民館等で、児童生徒の宿題や自学の支援
- (2) 地域住民を講師に公民館等で、地域の歴史学習やものづくり

○事業の実績

名称	校区	年間実施日数
・ 都治地区サタデースクール	(江津東小学校区)	8 日
・ 浅利地区サタデースクール	(江津東小学校区)	9 日
・ 渡津地区サタデースクール	(渡津小学校区)	9 日
・ 郷田地区サタデースクール	(郷田小学校区)	9 日
・ 嘉久志地区サタデースクール	(高角小学校区)	9 日
・ 和木地区サタデースクール	(高角小学校区)	9 日
・ 都野津地区サタデースクール	(津宮小学校区)	9 日
・ 二宮地区サタデースクール	(津宮小学校区)	10 日
・ 跡市地区サタデースクール	(津宮小学校区)	7 日
・ 集いの家サタデースクール	(津宮小学校区)	8 日
・ 有福地区サタデースクール	(川波小学校区)	9 日
・ 波子地区サタデースクール	(川波小学校区)	10 日
・ 敬川地区サタデースクール	(川波小学校区)	9 日
・ 長谷地区サタデースクール	(桜江小学校区)	9 日
・ 市山地区サタデースクール	(桜江小学校区)	9 日
・ 川戸地区サタデースクール	(桜江小学校区)	9 日
・ 谷住郷地区サタデースクール	(桜江小学校区)	10 日
・ 川越地区サタデースクール	(桜江小学校区)	9 日
合計		161 日

○事業の効果

- ・ サタデースクールを通して地域と子どもたちのつながりが出来た。
- ・ 土曜日に学習時間を設けることで休日の学習習慣が身についた。
- ・ 地域住民の参画：のべ757人　　子どもの参加：のべ1,300人

○事業費の内訳

費目	金額 (円)	内容
報償費	1,180,800	各教室コーディネーター等謝金
旅費	6,860	研修会等旅費
需用費	88,234	各教室消耗品等
役務費	131,766	各教室コーディネーター等保険料
計	1,407,660	

事業名	ふるさとキャリア教育推進事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
事業開始年度	平成 28 年度	事業進捗率 60 %		項	04	社会教育費
担当部署	社会教育課	社会教育係		目	05	社会教育活動費
事業費		1,500,000 円	事業の目的・目標	地域の「ひと・もの・こと」をいかした学習活動をとおして、ふるさとへの愛着と誇りを育むとともに、今の学びと未来の生活のつながりを常に意識して、子どもたちの自立を目指す教育を推進する。		
財源内訳	国庫支出金	750,000 円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	750,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- ・ 地域や異文化との交流事業
- ・ 地域企業（団体）との連携事業（体験活動など）
- ・ 地域を知るための自然体験・学習活動
- ・ 職場見学、職場体験
- ・ 地域の教育力と連携した放課後、土曜日等に行う学習活動
- ・ 地域の保育・教育施設（異施設種）との横や縦、斜めのつながりを創るための活動
- ・ 先進的な取組みを実施しているキャリア教育に関する研究者・従事者を招いた講演

○事業の効果

- ・ ふるさとの文化や歴史、自然人々について学び、ふるさとへの愛着や誇りを育て、ふるさとへ貢献しようとする意欲と態度を育成することができた。
- ・ 児童、生徒が周囲の人、ふるさとの大切さに気付くとともに、ふるさとに支えられている存在であるということが認識できた。
- ・ 地域の人材が「我がまちの学校」として、学校を末永く支援してくれる体制づくりができた。
- ・ 地域、企業と学校との連携だけでなく、小学校と高等学校、保育所と中学校、大学校などの市内保育・教育機関との連携が活発になった。

○事業費の内訳

- ・ NPO法人 「てごねっと石見」に委託。 委託料 1,500,000円

費目	金額（円）	内容
報 償 費	492,832	講師報償費
旅 費	61,701	講師旅費・宿泊料等
需 用 費	527,614	消耗品他
役 務 費	22,424	通信運搬費、支払手数料
借 上 料	133,715	車両借上料、会場借上料
委 託 料	103,747	教室運営委託料
事 業 経 費	157,967	事務費、消費税等
合 計	1,500,000	

事業名	教育の魅力化推進事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
事業開始年度	平成 30 年度	事業進捗率 20 %		項	04	社会教育費
担当部署	社会教育課	社会教育係		目	05	社会教育活動費
事業費		8,374,000 円	事業の目的・目標	学校・家庭・地域の連携を図りながら、幼稚園（保育所）・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・大学校という「校種の壁」を越えた一体的・系統的な教育活動を展開し、地域の特色を活かした「教育の魅力化」に取り組む		
財源内訳	国庫支出金	3,393,500 円				
	県支出金	1,587,000 円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	3,393,500 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- ① 市内の幼稚園（保育所）、小・中・高等学校、ポリテクカレッジ島根と地域・行政が一体となって実施する「高校の魅力化」に取り組む
- ② 「高校の魅力化」はもちろん、現在実施している江津市の「ふるさと・キャリア教育」をさらに充実させるため、これらの取り組みを総合調整し、地域の機運を醸成する統括プロデューサーを配置

○事業の効果

- ・ ふるさとキャリア教育との連携（親しみや憧れ）による地元高校への進路選択増
- ・ ふるさとの魅力を伝えること（地域情報の伝達）による進路選択枝の増

○事業費の内訳

- ① NPO法人「てごねっと石見」に委託。 委託料 5,200,000円

費目	金額（円）	内容
報 償 費	1,708,294	講師報償費
旅 費	213,877	講師旅費・宿泊料等
需 用 費	1,828,859	消耗品他
役 務 費	77,729	通信運搬費、支払手数料
借 上 料	463,496	車両借上料、会場借上料
委 託 料	359,618	教室運営委託料
事 業 経 費	548,127	事務費、消費税等
合 計	5,200,000	

- ② 合同会社「EGAHOUSE&COMPANY」に委託。 委託料 3,174,000円

費目	金額（円）	内容
委 託 料	3,174,000	統括プロデューサー配置委託料
合 計	3,174,000	

事業名	埋蔵文化財発掘調査事業			予算科目	会計	01	一般会計	
					款	10	教育費	
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		%	項	04	社会教育費
担当部署	社会教育課				目	07	文化財保護費	
事業費					26,230,911 円			
財源内訳	国庫支出金				1,275,000 円			
	県支出金				23,600,000 円			
	地方債				円			
	その他				12,381 円			
	一般財源				1,343,530 円			
				事業の目的・目標	埋蔵文化財の保護・活用			

施策の内容、実績、及び効果

○施策の内容

文化財保護法に基づく開発事業に伴う埋蔵文化財の取扱いに係る判断基準に則して、必要な埋蔵文化財調査を実施する。また、出土品を適切に取り扱い、活用に資する。

○施策の実績

●波積ダム文化財総合調査事業（発掘調査）

- ・島根県浜田県土整備事務所委託事業（100%補助）
- ・内容：波積ダム工事に伴う遺跡岩瀧寺跡地の記録保存を目的とした発掘調査
- ・委託期間：平成30年4月26日～平成31年3月22日
- ・決算額：23,650,500円（委託金額：23,600,000 円）

費目	金額（円）	内容
共済費	716,120	雇用保険・社会保険・労災保険料
賃金	11,538,600	調査補助員・事務補助員・作業員
報償費	30,000	調査指導謝礼金
旅費	-	連絡旅費
需用費	1,392,550	消耗品費・光熱水費・写真現像代・燃料費等
役務費	113,873	電話代・手数料
委託料	3,188,160	測量・分析委託
使用料及び賃借料	6,671,197	調査器材一式・車両・コピー機賃借料、コピー機使用料
計	23,650,500	

- ・効果 面積約2,500㎡を調査し、中近世の遺構・遺物を発見した。遺物はコンテナ120箱の量であり、新たな地域史解明に繋がる資料を得ることができた。

●遺跡発掘調査費

- ・国庫補助事業（50%補助）
- ・内容：詳細分布調査、鉄製品保存処理
- ・期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日
- ・決算額：2,580,411円（補助金額：1,275,000円）

費目	金額（円）	内容
共済費	1,599	雇用保険・社会保険・労災保険料
賃金	281,206	調査補助員・事務補助員・作業員
報償費	-	調査指導謝礼金
旅費	-	連絡旅費
需用費	29,606	消耗品費・光熱水費・写真現像代・燃料費等
役務費	-	電話代・手数料
委託料	2,268,000	測量・分析委託
使用料及び賃借料	-	調査器材一式・車両・コピー機賃借料、コピー機使用料
計	2,580,411	

- ・効果 これまで把握できていなかった古代山陰道推定ルートの現状を確認した。これにより、市民の間合せ対応や今後の活用に資する情報を集めることができた。

事業名	学校給食費			予算科目	会計	01	一般会計
					款	10	教育費
事業開始年度	平成	年度	事業進捗率		項	05	保健体育費
担当部署	学校教育課		管理係		目	02	学校給食費
事業費		106,965,174 円		事業の目的・目標	安全安心で栄養バランスを考慮した給食を提供することによって、児童生徒の健やかな成長と、食の重要性、食に関する情報発信等の食育の推進に資することを目的とする。		
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他	円					
	一般財源	106,965,174 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

配食実績	学校名	実施日数（日）	実施食数（食）
	郷田小学校	191	21,930
渡津小学校	194	19,999	
江津東小学校	196	22,365	
川波小学校	193	16,767	
津宮小学校	195	63,579	
高角小学校	193	50,785	
桜江小学校	194	24,490	
江津中学校	186	42,586	
江東中学校	196	13,408	
青陵中学校	186	47,310	
桜江中学校	195	11,728	
江津学校給食センター	202	4,387	
桜江学校給食センター	199	1,007	
合計	2,520	340,341	

○事業の実績

節	内容等	金額
報償費	謝礼金	5,000
需用費	光熱水費、消耗品費、修繕料等	27,931,881
役員費	電話料等	2,317,746
委託料	給食車運転業務委託料等	10,931,544
使用料及び賃借料	C A T V、印刷機使用料等	665,536
備品購入費	調理用備品等	1,433,434
負担金補助及び交付金	学校給食会運営費	63,544,233
公課費	給食車重量税	135,800
合計		106,965,174

○事業の効果

衛生管理の徹底がいつそう向上するように、調理員をはじめ学校給食に関わる職員を対象に衛生管理研修を行った。（平成30年度は2回実施）

食物アレルギーのある児童生徒に対しては、平成29年3月に策定した「江津市学校給食における食物アレルギー対応ガイドライン」に基づき対応を行っている。また、年2回開催している食物アレルギー対応検討委員会では、学校、小児科医等を交えて情報共有を図るほか、アレルギー対応の一連の流れにおける改善について意見交換を行った。これにより、平成30年度は、学校と保護者間で使用する食物アレルギー対応関係書類連絡用ファイルをより使いやすいものに変更したり、申請書等様式を見やすいよう改正した。